

海外LPガス情報の紹介

(No. 132 平成 18 年 4 月号)

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目19-5
虎ノ門一丁目森ビル

(電話: 03-3507-0041 Fax: 03-3507-0048)

E-mail: info@lpgc.or.jp

HP URL: <http://www.lpgc.or.jp>

(「海外LPガス情報の紹介」のバックナンバーも掲載)

(1) 2006 年パービン&ガーツ社第10回アジアLPGセミナー

開催案内

アジアのエネルギー市場は世界で最速の成長を続けています。環境にやさしいクリーンな燃料の特性が浸透し、アジア地域内の発展途上国の所得の向上にもより LPG の消費は迅速に拡大しています。このセミナーでは関連企業・組織の有識者が下記の主要課題を深く分析し、特に昨年来の価格高騰下の LPG 市場への影響を踏まえた議論がなされる予定です。LPG の国際的・地域的な需給動向、販売政策、船舶需給等の見通しがセミナーの主要な講演内容となります。

日時・場所: 2006 年 7 月 11 日～12 日・シンガポール グランドハイアット ホテル

テーマ: 「供給先導型市場移行期への備え」

(第1日目)

9:00~12:15 AM

- ① Purvin & Gertz Mr. Ken Otto
「アジア・中東市場を中心とした世界のLPG需給見通し」
- ② Reliance Industries Mr. Prashant Mahale
「インドLPG市場の最新の発展と将来の需給見通し」
- ③ Gulfsands Petroleum Mr. John Dorrier
「イラクのMisanLPG開発計画の概要と進捗状況」
- ④ 豪州LPG協会(ALPGA) Mr. Phillip Westlake
「豪州LPG市場の最新状況と将来の需給貿易展望」
- ⑤ C1Energy Ms. Shen Ping
「中国の製油所拡張計画と国内LPG供給と輸入需要に与える影響」
- ⑥ Purvin & Gertz Mr. Ravivenkatesh Narayanaswamy
「アジア及び中東の石油精製能力増強計画と世界の石油市場・価格動向」
- ⑦ **パネルディスカッション**

2:00~5:00 PM

- ⑧ Purvin & Gertz Mr. Craig Whitley
「東西LPG価格差の要因分析と今後の地域価格設定に与える影響」
- ⑨ E-1Corporation Mr.K.T.Hwang
「最新の韓国LPG市場概要」
- ⑩ 広東油気商会(Guangdong Oil & Gas Association) Ms. Jade Zheng Chu Ling
「高価格が成長に与える影響を踏まえた中国LPG市場の課題分析」
- ⑪ S.W.Gas Trading Mr. Tom Maceda
「フィリピンのLPG市場の最新動向と今後4-5年の見通し」
- ⑫ Chemical Market Associates,Inc(CMAI) Mr. Heng Mun Lai
「アジア・中東の石油化学産業と地域石化市場及び貿易に与える影響」
- ⑬ Petrovietnam Gas Co., Mr. L.X.Trinh
「ベトナム市場の概観」
- ⑭ Clean Fuel USA, Mr. Suyash Gupta
「インドにおけるオートガス合併事業の概観とオートガス政策の考察」
- ⑮ **パネルディスカッション**

(第2日目)

9:00~11:45 AM

- ① 世界LPガス協会(World LP Gas Association) Mr. James Rockall
「新規LPガス需要の国際市場に与える影響度合いの考察とオートガスと農村部における技術革新」
- ② Petredec Mr. Simon Hill
「アジア太平洋地域の小型・中型LPG船舶市場の見通し」
- ③ Waterborne Energy, Inc., Mr. Scott Gray
「米国市場とインフラの重要性と同市場が国際貿易に与える潜在的な影響を分析」
- ④ Fearnleys Mr. Paal Naess

- 「世界の大型 LPG 船舶市場の概観」
- ⑤ Platts Mr. Dave Ernsberger
「アジアの LPG 価格設定における主要課題の考察」
 - ⑥ Purvin & Gertz Mr. Ron Gist
「LPG 国際価格の短期的な見通しと将来の価格設定における主要課題」
 - ⑦ パネルディスカッション

(2) 第19回世界LPガスフォーラム(フォーラムと展示会) & GTC(世界技術会議)のご案内

開催場所: 米国シカゴ、(Palmer House Hilton Hotel)

開催時期: 2006年10月17-20日

詳細情報: コンタクト先:

主催者: World LP Gas Communication SARL, for World LP Gas Association
(WLPGA) 9, rue Anatole de la Forge 75017 Paris – France
E-mail: vandresen@worldlpgas.com Web: www.worldlpgas.com
Tel: +33(0) 1 58 05 28 00 Fax: +33(0) 1 58 05 28 01
Contact: Volker Andresen

主催者は開催事務局であるMCI/France に、この第 19 回世界LPガスフォーラムに関する全ての催行(フォーラム会場、宿泊等インフラ)及び展示会のロジスティックに関して、一切権限を付与しています。

MCI, France: 第 19 回世界LPガスフォーラム開催事務局
C/O MCI France, 24 rue Chauchat 75009 Paris, France
E-mail: wlpgas2006@mci-group.com Web: www.wlpgasforum2006.com
Tel: +33 (0) 1 53 85 82 65 Fax: +33 (0) 1 53 85 82 83
Contact: Mrs. Bruna Bertolini

(注): 尚、展示会の申し込みは、集中しており既にスペースは可成り埋まっているようであり、ご希望の向きはお早めに申し込んでください。フォーラム>Cの参加費用割引レート適用は 8 月 31 日までの申し込みが必要。ホテルの申し込みも開催事務局 MCI France へ行って下さい。(申し込み用紙は Web からダウンロードが可能)

歓迎挨拶

WLPGA 理事長の歓迎挨拶

フランシス・ジャン理事長

WLPGAの理事長として皆様を第19回年次フォーラムにお迎えすることは私の慶びとするところとであります。

今年は「技術が牽引する発展」のテーマの下に、世界のLPG業界のあらゆる事業分野の方々がご参集されます。今年の会議は、多数の著名な業界人等の参加を得て3日間フルに開催する今までで最も素晴らしいフォーラムの一つになるものとお約束いたします。

GTC(グローバル・テクノロジー・コンファレンス)の一部として世界中の革新的なテクノロジーに関するセッションが9つも組み込まれており、これは初めての事であります。我々のフォーラムの展示会ももう一つのハイライトとなっており、主要な国際企業がLPガスの設備、製品及びサービスの先端事例を展示いたします。また歓迎宴等の催しものも拡充しており、全ての参加者がお互いにネットワークを育まれるように、当協会ではフォーラム・展示会会場であるパーマー・ハウス・ヒルトン・ホテルのレジェンダリー・エンパイアールームにて歓迎宴を行い、ガラ・ディナーは、著名なフィールド・ミュージアム・オブ・ナチュラル・ヒストリーで行います。更にWLPGAの会員の方は、はっと息をのむ程素晴らしい美術館であるシカゴ・アート・インスティテュートにて夕食会へご招待致します。

WLPGAが、今年シカゴでこうしてフォーラムを開催できますことは、偏にPERC(全米プロパン普及・研究協会)、NPGA(全米プロパンガス協会)及びNOC(全米組織委員会)、さらには米国内外の多数のスポンサー、メディア・パートナーの方々のご協力・ご支援の賜とここに深謝申し上げます。

世界初のグローバル・テクノロジー・コンファレンスと非常に関心度の高いフォーラム・プログラム及び展示会、魅力的な歓迎イベントがこのような素晴らしいシカゴでの同時開催によるシナジー効果による絶好の機会となりますので、第19回フォーラム・GTCへのご参加をお願いいたします。

其れでは10月にシカゴでお会いいたしましょう。

全米組織委員会会長の歓迎挨拶

NOC(全米組織委員会) ランディー・ラザフォード会長

今年は、WLPGAとPERC共催で世界初の「LPガス・テクノロジー・コンファレンス」がシカゴでフォーラムと併催されることは米国にとってこの上ない名誉であります。

今年米国のNPGA(全米プロパンガス協会)は創立75周年を祝いました。1931年設立以来、協会は米国プロパン業界をUS\$300億の原動力に育て上げました。最新統計によると199億ガロン(3,670万ト)のプロパンが2004年に全米で販売されました。また87億ガロン(1,680万ト)が米国石化産業で使用されました。更に40億ガロン(770万ト)が全米の農業用、業務用及び工業用で使用されています。また全米で19万台のプロパン自動車と50万台のフォークリフトが走行しております。その上全米の690万世帯が暖房・厨房用の主燃料としてプロパンを使用しています。プロパンは年率約3%の成長を遂げている全米におけるエネルギー選択肢にとって重要な地位を占めています。

今年フォーラムをシカゴにお迎えすることで全米プロパン業界が世界の市場における全米の位置を今まで以上に認識を深める良い機会であります。全米プロパン販売業界は今日世界市場につい

て新たな感触を得ており、これは世界のLPガスの使用増が今まで以上に米国市場に影響を与えているからであります。世界中の新たな市場は、米国が今後ずっと注視し適応してゆかなければならない絶え間ないグローバル化の兆候を発信し続けているからなのです。

最後に全米組織委員会と 56,000 の米国の業界関係者を代表いたしまして、シカゴの第 19 回 WPGA フォーラムへの参加を歓迎いたします。この機会が有益であり、貴社団体の事業及び貴国におけるこの素晴らしいLPガスという燃料の拡大に寄与することを確信いたします。

イベント:

1) 展示会とフォーラム(会議):

世界 LP ガス協会の年次フォーラムは世界的に認知されており、毎年世界で最も重要な LP ガス産業のイベントとして位置づけられており、700 名を超える出席者と 1,000 名を超える外部参加者を数えている。このフォーラム参加によって海外市場とネットワークへアクセスし、世界の主要な業界代表者に接触できる良い機会となっている。

展示会に出展され貴社の設備機器類とサービスを世界へ普及する好機:

世界LPガスフォーラムの展示会は各企業、供給業者及び技術の専門家集団にとって世界の主導的なテクノロジー、第一級の設備機器、最新の技術とサービス、及び海外・米国内の LP ガス業界のとのネットワーク構築にまたとない機会となります。

出席者、訪問者及び展示者間の幅広い対話促進のため、10 月 18 日(水)に展示会の開会式が、モーニング・コーヒープレークの時間帯に行われ、事業関係者との接触・対話促進の絶好の機会です。

貴社の業容拡大のために最適な展示場所を早めに確保してください。

2006 年はより一層世界技術会議が併設されるため、益々価値が高まっています。: GTC (世界技術会議)には世界各地から最優秀な専門家が革新的な技術を携えてプレゼンテーションを行い、皆様とコンタクトいたします。WPGA と PERC(米国プロパン普及協会)が、この世界で最初に開催される世界技術会議を共同開催いたします。今年のフォーラムは GTC との合体により完璧な会合と展示会を LP ガス産業界にお約束し、無比の機会と価値を提供いたしますので、是非お見逃しのないように願います。GTC に関し、詳細をお知りになりたい方は: 右記 URL を参照下さい。 www.globaltechconference.com

2)シカゴ市と会場: シカゴ即ち《アメリカの鼓動》

Sarah Bernhardt 女史がこの驚異の都市をこう呼んでいる。シカゴは実際何でも揃っている: その多様なミックスゆえに米国中部の文化と経済の中心地となっている。ミシガン湖の辺に 1800 年初頭に建設され、シカゴは東部州の都市と未開拓の西部の平原との間の交易の中心であった。この文明と未開地の接点である要衝の位置にあることから、シカゴは都市開

発・技術革新のための重要なハブになり、また近代生活の数々の特色を持つ多岐に亘る融合されたものが最もうまく開花したものといえよう。またシカゴはその建築、比肩する物がないジャズ & ブルース、スポーツマン精神、数々の賞に輝く新聞、及び有名か大学について世界中で第一級の名声を博してきた。

Loop 地区はかつてシカゴの主要な小売商店街と歓楽街であったが、今では多数の米国並びに海外の企業及び商品市場を有しており、同市は米国の最も重要な金融と産業基盤となっている。ビジネスにも、レジャーにも:シカゴは皆様の好む町であり、フレンドリーな中西部流のマナーで皆様を歓迎出来ることを誇りに思います。

今年の WPGA と GTC はパーマーハウス・ヒルトンホテルで行われ、Loop 地区の中心街のランドマークタワーとなっています。市内の最も有名なスポットにも近く:シカゴ美術館、グラント・パーク、ミレニアム・パーク、及びネイビー・スタジアムにアクセスが最適です。主要なショッピング街も目と鼻の先です。レストランは 4 つあり、ショッピングアーケードも館内にあり、リラクゼーションのためのフィットネスセンターも完備されています。同ホテルは 100 年以上の歴史のあるダウントウン中でも老舗であり、豪壮なスタイル建築の粋を集めています。19 世紀の魅力と 21 世紀の洗練されたサービスと優秀な施設をもってしてフォーラムの参加者、展示者そして訪問者の皆様のご期待にお答えいたします。

《会議の暫定プログラム》 — 技術革新による大躍進 —

第一日目: 10月18日(水)

8:30-9:00am: **会議の開催セレモニー**

歓迎挨拶: WPGA 理事長 フランシス・ジャン氏

NOC(全米組織委員会)会長 ランディー・ラザフォード氏

シカゴ市長 リチャード・ダラー氏《招聘》

9:00-9:30am: 基調講演 「21 世紀に於ける世界のエネルギー産業が直面する課題」

WEC(世界エネルギー会議)事務局長 ジェラルド・ドーセット氏

9:30-10:30am: 展示会開催

コーヒーブレイク

10:30-12:30am: **一般フォーラム・セッション (1)**

「世界的及び地域的なLPガス展望」

議長: オランダ SHV Gas CEO, ロイス・ドリーベーク氏

プレゼン: LPガスの需給の世界的展望

旧ソ連邦からの供給

中東の生産者の視点

国際的な開発—アルジェリアの視点

LPガス海運—躍進あるいは低迷

12:30-2:00pm: ランチ・ブレーク

2:00-4:00pm: **一般フォーラム・セッション(2)**

「アメリカにおけるLPガスの機会」

議長: 米国フェレルガスCEO, ジム・フェレル氏

プレゼン: 米国市場における勝ちのシナリオ

カナダのLPガスの需要の成長

メキシコの現在及び将来の機会

天然ガス市場に於けるラテンアメリカのLPガス使用の伸長

アルゼンチンの新たなLPガスの規制の枠組みの利点

4:00-4:30pm: コーヒーブレーク

4:30-6:00pm: **ハイレベル・ラウンドテーブル(高度なパネルディスカッション)**

「2030年におけるLPガスの世界」

議長: 豪州エルガス、社長 アラン・ビール氏

パネル参加者は、LPガス及びエネルギー市場開発の見識豊かな専門家から選ばれた人々で、現在から 2030 年に向けてのLPガス業界発展のための今後の傾向と推進力について議論を行う。

第二日目: 10月19日(木)

8:45-10:30am: **一般フォーラム・セッション(3)**

「オートガス成長のための協力関係」

議長: トルコの Aygaz 社長 オメール・コス氏

プレゼン: トルコ初のOEM生産によるオートガス自動車の発売

米国に於ける軽トラック開発

Gas FX - 革新的なマーケティング・コンセプト

フリート市場へのオートガスの販売

10:30-11:00am: コーヒーブレーク

11:00-12:45pm: **一般フォーラムセッション(4)**

「発展市場拡大の為の革新的手法」

議長: インドIOC会長 サルタック・ベフリヤ氏

プレゼン: 官民の協力関係 - 南アフリカの成功の鍵

モロッコに於けるLPガス開発の為のツールとしてのマイクロファイナンス
(小規模金融)

インド農村部へのLPガス販売

チリに於ける低所得世帯市場を開発するための画期的手法

12:45-2:30pm: ランチ

2:30-2:45pm: **グローバル・テクノロジー・セッションの開幕**

(Global Technology Conference)

歓迎挨拶: 米国プロパン普及研究協会 (PERC) 会長 ジョン・ガウロンスキー氏

2:45-3:15pm: 基調講演者: BP 北米 NGL 事業リーダー、ジーン・ジョーンズ女史
「世界の課題、画期的な解決法」

3:15-3:45pm: コーヒーブレイク

3:45-5:15pm: **一般テクノロジー・セッション**

「テクノロジー — 決定的な要素」

議長: 米国プロスマン・プロパン社長、スチュアート・ウエイディー氏

プレゼン: PERC-業界への付加価値

日本における需要開発

LP ガスの流通最適化

5:15-5:30pm: **WLPGA 理事長による共通セッションの閉幕と**
それに続く 2007 年ケイプタウンの第 20 回 WLPG フォーラムへの歓迎挨拶:
南アフリカ、資源エネルギー大臣 (国会議員)
リンディー・ベネディクタ・ヘンドリックス女史《招聘》

第三日目: 10 月 20 日 (金)

8:45-10:30am: **パラレル・テクノロジー・セッション (1A)**

「分散型発電 (I)」

トピックス (予定)

- ・ 米国に於ける燃料電池開発
- ・ 日本に於ける家庭用燃料電池

パラレル・テクノロジー・セッション (1B)

「LP ガス・オペレーション (I)」

トピックス (予定)

- ・ プロパンの供給チェーンにおける熟練
- ・ LP ガス企業における予測と最適化

10:30-11:00pm: コーヒーブレイク

11:00-12:30pm: **パラレル・テクノロジー・セッション(2A)**

「分散型発電(II)」

トピックス(予定)

- ・ SNG(合成天然ガス)によるピーク時のエネルギーの備蓄
- ・ マイクロ・タービン

パラレル・テクノロジー・セッション(2B)

「LPガス・オペレーション(II)」

トピックス(予定)

- ・ タンクの圧力テスト代替のアコースティック・エミッション(音響発振)」
- ・ 最新のテクノロジー使用による、より安全なオペレーション

12:30-2:00pm: ランチ

2:00-3:30pm: **パラレル・テクノロジー・セッション(3A)**

「LPガスの家庭業務用途」

トピックス(予定)

- ・ ブラジルに於けるLPガス・シリンダー市場のチャンネル管理と熟練
- ・ プレハブ住宅用の空間と給湯システムの統合開発

パラレル・テクノロジー・セッション(3B)

「燃料品質と着臭剤」

トピックス(予定)

- ・ 商業LPガスの重質混入物質の除去プロセス
- ・ 新たなLPガス用の低硫黄着臭剤

パラレル・テクノロジー・セッション(4A)

「LPガスの農業用途」

トピックス(予定)

- ・ プロパン燃料ベースの Defoliation(枯葉剤散布)
- ・ プロパンを動力源とした鶏舎殺菌法

パラレル・テクノロジー・セッション(4B)

「LPガスの自動車のテクノロジー」

トピックス(予定)

- ・ 最新のLPガス噴射テクノロジーの概要
- ・ フォークリフト・テクノロジー—新たな市場機会創出

(3). LPGタンカーの運賃動向 : 2006 年 3 月

【長期傭船費(12 か月、冷凍船)(単位:千ドル/月)】

	<u>2 月末</u>	<u>3 月末</u>	<u>4 月末</u>
75,000 - 78,000 m ³ 船(新型)	1,200	1,200	1,200
75,000 - 78,000 m ³ 船(旧型)	950	950	950
15,000 m ³ 船	800	775	675

【スポット運賃、\$/トン】(75,000-54,000 m³船型中心)

【注:()内の数字はノミナル・レート(理論値)】

	<u>2 月</u>	<u>3 月</u>	<u>4 月</u>
アラビア湾 → 極東(中国<安値>~日本<高値>)	42-44	40-43	39-47
アラビア湾 → 地中海	(55-60)	(45-50)	(50-55)
アラビア湾 → 北西ヨーロッパ	(56)	(51)	(55)
アラビア湾 → 米国(ガルフ)	(79)	(79)	83
アラビア湾 → インド(西岸)(20-35,000m ³)	40-60	40-60	40-70
ヤンブー(サウジ) → 極東(日本)	47-52	49-50	49-53
ヤンブー(サウジ) → 地中海	44-50	40-45	45-50
ヤンブー(サウジ) → 北西ヨーロッパ	50-55	45-50	50-55
ヤンブー(サウジ) → ブラジル	(50)	(55)	(59)
ヤンブー(サウジ) → 米国(ガルフ)	65-70	65-75	70-79
アルジェリア → 北西ヨーロッパ	30-37	25-35	25-35
アルジェリア → 米国(ガルフ)	(40-42)	(42-45)	49-55
アルジェリア → メキシコ	45-48	45-48	50-55
アルジェリア → 極東(中国~日本)	(60-66)	(65-68)	(69-72)
北海 → 極東(中国~日本)	(82-85)	(85-90)	(89-94)
北海 → 米国(ガルフ)	(40-50)	(40-50)	50-55
北海 → 北西ヨーロッパ	20-25	18-25	20-30
ナイジェリア → 極東(中国~日本)	-	-	-
ナイジェリア → 米国(ガルフ)	55-60	47-52	50-55
米国(ガルフ) → 極東(パナマ経由)	(70)	(77)	(81)
オーストラリア(南東部) → 極東(中国~日本)	32-40	37-40	41-44
ベネズエラ → 米国(ガルフ・東部)	40-45	40	40

(4). LPG価格動向

<u>スエズ以東</u>	<u>2006年4月CP(\$/トン)</u>	<u>2006年5月CP(\$/トン)</u>
プロパン:サウジアラムコCP	435	470
ブタン :サウジアラムコCP	425	470

欧州:プロパンスワップ先物市場価格(\$/トン、CFR 北西ヨーロッパ)

2月下旬時点: 4月:470-477, 5月:470-477

3月下旬時点: 5月:465-470, 6月:465-470

4月下旬時点: 6月:525-530, 7月:528-536

米州:モントベルビュー・スポット価格(セント/ガロン、カッコ内\$/mt 概数)

	<u>2月後半</u>	<u>3月後半</u>	<u>4月後半</u>
プロパン:	90(469)	95(495)	103(537)
ブタン:	110(497)	115(520)	122(551)
エタン:	50(367)	57(418)	69(506)

(換算係数 ¢/ガロン→\$/mt: プロパン 5.213, ブタン 4.520, エタン 7.338)

【契約価格 FOB、\$/トン】

	<u>プロパン</u>			<u>ブタン</u>		
	<u>2月</u>	<u>3月</u>	<u>4月</u>	<u>2月</u>	<u>3月</u>	<u>4月</u>
サウジアラビア(CP)	622	530	435	627	530	425
北海(BPAP)	580	495	478	585	490	465
アルジェリア	597	497	455	605	505	455

【月平均スポット価格 CFR、\$/トン】

	<u>プロパン</u>			<u>ブタン</u>		
	<u>2月</u>	<u>3月</u>	<u>4月</u>	<u>2月</u>	<u>3月</u>	<u>4月</u>
日本	602	491	493	603	478	490
ヨーロッパ(北西部)	545	506	514	527	473	495
米国(ガルフ)	472	475	523	526	477	511
中国(南部)	598	486	488	598	473	485

(5). 海外・日本のLPG関連イベント(会議・展示会)

<u>イベント名</u>	<u>場所</u>	<u>日付</u>	<u>主催者</u>
AEGPL(欧州 LP ガス協会) 年次フォーラム・総会	Istanbul, Turkey	2006 年 5 月 31 日－ 6 月 2 日	AEGPL (欧州 LP ガス協会)
Purvin & Gertz Inc. アジア LPG 国際セミナー	Singapore	2006 年 7 月 10-13 日	Purvin & Gertz Inc.
WLPGA(世界 LP ガス会議) >C(世界技術会議)(共催)	Chicago(U.S.A.)	2006 年 10 月 17－20 日	WLPGA & PERC (世界 LP ガス協会) & 米国プロパン普及 協会
Purvin & Gertz Inc. Latin America LPG Seminar	Panama City, ,Panama	2006 年 11 月 6-9 日	Purvin & Gertz Inc.

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル



(注：尚 4 月号から、郵送は都合により取りやめ、弊振興センターのHPへの掲載のみとなりましたこと、ご了承願います。)